



MS342-12001

リヤルーフスポイラー

取付・取扱説明書

この度はオーリス用TRDリヤルーフスポイラーをお買い上げ頂き、有難うございます。
 本書には上記リヤルーフスポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
 取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。
 なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

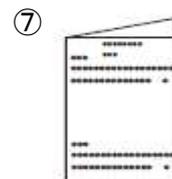
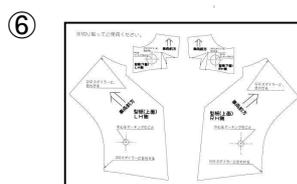
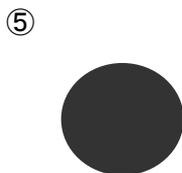
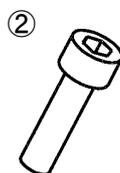
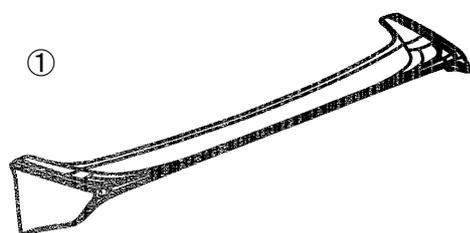
本商品は、車両登録後に取付けを行って下さい。
 登録前に取付けを行った場合、持込みの新規検査が必要となります。

■品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	備考(塗色・適合グレード)
MS342-12001	オーリス	NZE151 ZRE152	'06.5~	・ガンメタリック(1G3)塗装 ・2WD・4WD車共に150Xグレード車は除く

■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤルーフスポイラー		1	
②	内六角ボルト		2	純正スポイラー×用品スポイラー用 M5×P0.8×L18
③	ウエルナット		2	TRDスポイラー既存穴に挿入使用
④	ワッシャ		2	②ボルトに使用
⑤	防水シール		2	純正スポイラー下面、加工穴に貼り付け
⑥	型紙		1	純正スポイラー穴位置用
⑦	取付・取扱説明書(本書)		1	



■取付・取扱上のご注意

△警告：この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。

△注意：この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が傷害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

※確認・本商品到着後は直ぐに開封し、内容物に破損がない事、本書に記載されている付属品がすべて揃っている事を確認して下さい。本商品は過去に事故歴の無い車両に確実に取付け出来ます。

△注意 本商品の取付け、交換の際は該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行なって下さい。

△注意 本商品は未登録車両への取付けは出来ません。必ず車両登録後に取付けを行なって下さい。

△警告 本商品の取付作業・部品交換は必ず専門の整備工場で行なって下さい。

△警告 本商品は適合車種以外には使用しないでください。破損や故障により、重大な事故を招く場合があります。

△警告 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを停止し、パーキングブレーキがかかっていることを確認後、行って下さい。不安定な場所での作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。

△警告 エンジンルーム、マフラーなどの付近で取付作業を行なう際は、必ず各部が冷えていることを十分確認後、作業を開始して下さい。熱い状態で作業を行なうと、ヤケド等の重大な傷害を負う場合があります。

△警告 車両に付いている純正ボルト・ナット等を再使用する部分については、ボルト・ナットが錆びたり劣化したりしている場合、必ず新品に交換して下さい。

△警告 取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト・ナット類を十分に締付けてください。取付時に緩みがあると徐々に緩んできて、脱落などにより重大な事故を招く恐れがあります。

△警告 取付後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談下さい。そのまま走行すると破損や故障の原因となり、重大な事故を招く場合があります。

△警告 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意下さい。

△警告 急発進、急制動、急旋回などの無理な走行、乱暴な運転は本商品に過剰な負担をかけ、損傷、故障の原因となるばかりでなく、重大な事故の発生をも誘発することになりますので、絶対におやめ下さい。

△警告 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路での走行は十分な安全スピードで走行するようお願いします。

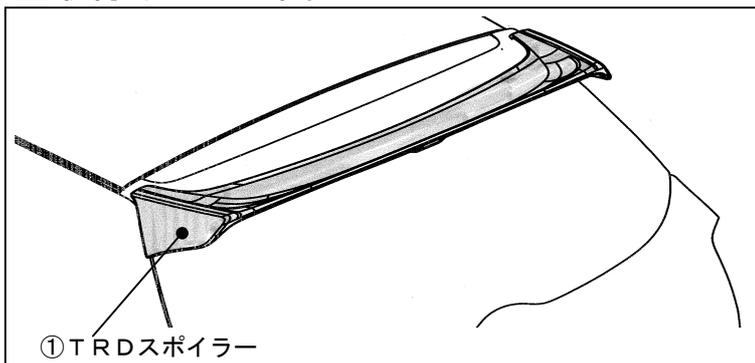
△警告 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に、変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をおやめ下さい。

△警告 走行中に異常を感じたら直ちに安全な場所に停車し、取付部分をよく点検してください。そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となる場合があります。

△警告 本商品への改造、加工は絶対に行なわないで下さい。保証が受けられないだけでなく、破損や、重大な事故の原因となる場合があります。

△注意 取付作業や、走行にともない、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着手順を必ずお守り下さい。

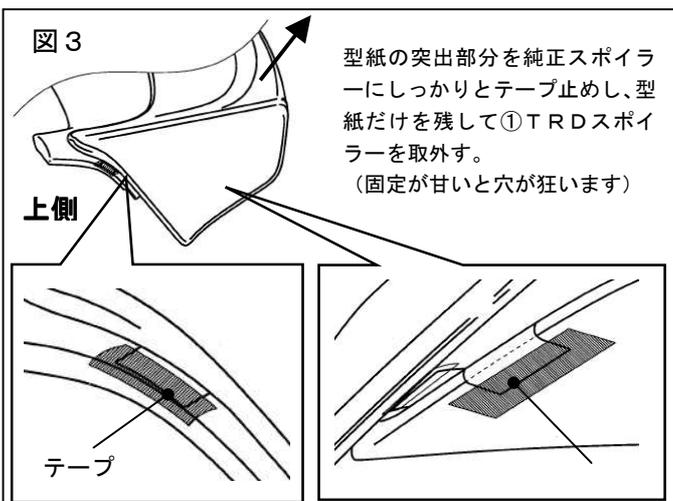
■取付イメージ図



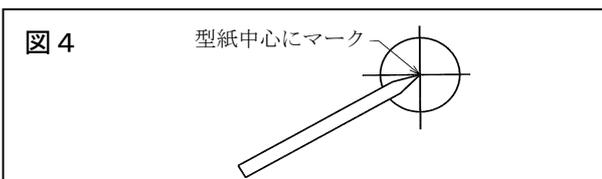
アドバイス

1. 図2の作業で取付位置を決めた際、TRDスポイラーの両端前側と、上面、下面共に中央部のモール前に紙テープを貼り、印を付けておくと脱脂作業や本取付の目安となり作業がスムーズになります。

3. 2で取付位置が決まったら、図3の要領で型紙の出ている部分を純正スポイラーに紙テープで固定する。次にTRDスポイラー側の紙テープを剥がし純正スポイラーに型紙が移るようにして、TRDスポイラーだけを取外す。



4. 図4のように型紙の丸マーク中央にケガキ針等を使用し、車両に付いたままの純正スポイラーの上面に穴開用のマークを付ける。



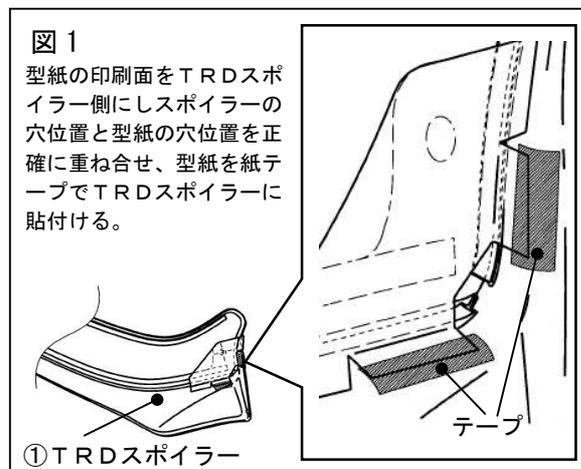
△注意

1. 穴開けは後の作業になります、不鮮明にならない様にマーキングして下さい。

■ TRDスポイラー取付要領

1. 取付け穴のマーキング (上側)

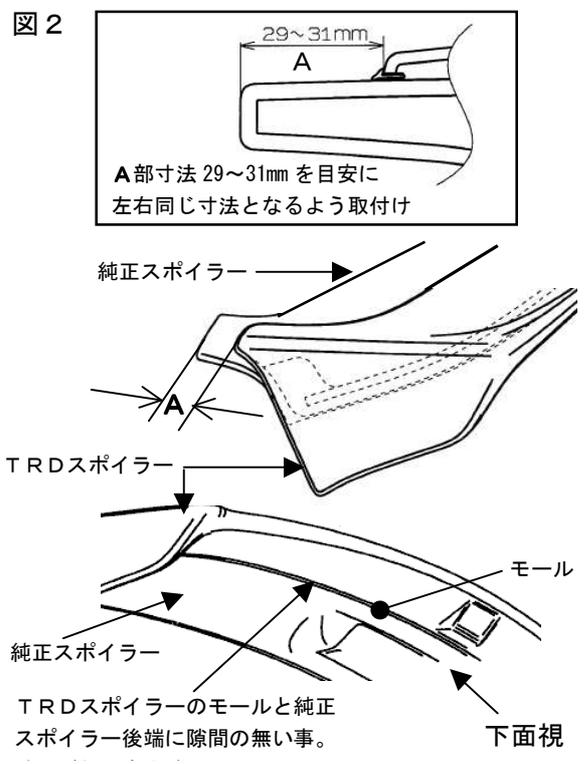
1. 図1(下図)の要領でTRDスポイラー裏面に型紙.上を左右共に貼付ける。



△注意

1. 型紙の貼付けは丸穴位置を正確に重ねて貼って下さい。(穴位置が狂います)
2. 型紙の丸穴マーク部を2つ折にし、折目を付けると中心が出し易くなります。

2. 型紙を貼ったTRDスポイラーを車両の純正スポイラーに被せ、前方に押付けた位置で図2のように取付位置を決める。

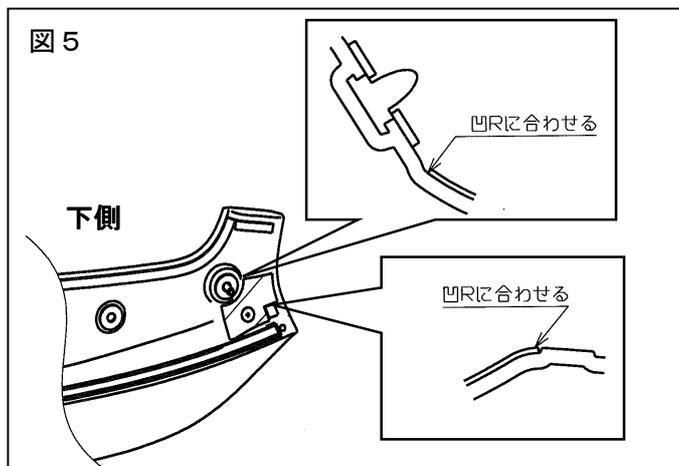


2. 純正スポイラーの取外し

車両修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、純正スポイラーを車両から取外す。

△注意

1. 取外したスクリュー、リテーナー、ボルト、クリップ等は再使用しますので紛失や破損に注意して下さい。



3. 穴開位置のマーキング (下側)

1. 図5のように車両から外した純正スポイラーの裏側に型紙.下を左右共に貼付ける。

△注意

1. 純正スポイラーの角凸部に合わせる90度部分は型紙を正確に切り取り純正スポイラーに正確に合わせて、貼付けて下さい。

2. 貼付けた型紙の中央部に1-4と同様にケガキ針等でマーキングをする。

4. 穴開け及び脱脂作業

1. 図6を参考に純正スポイラーの上面に7mm、下面に12.5mmの穴を左右共に開ける。

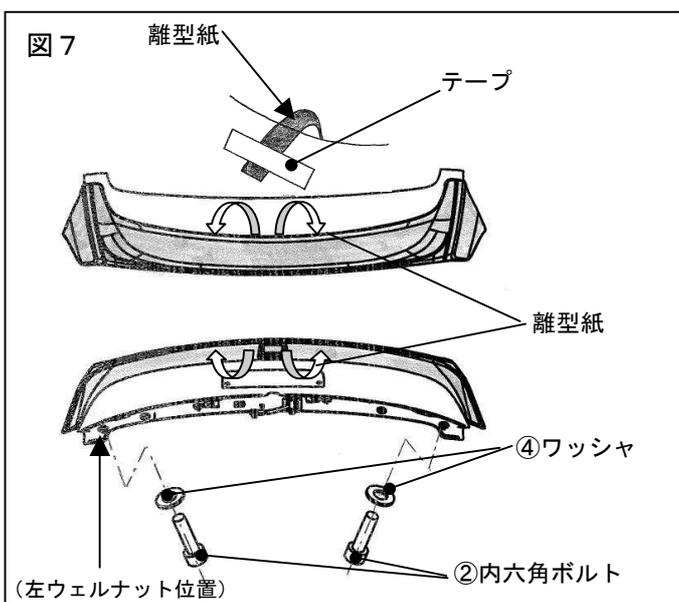
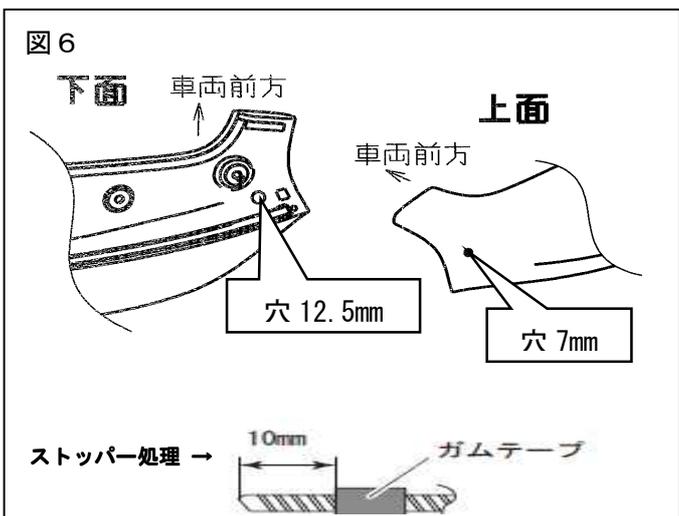
△注意

1. ドリルが反対面に貫通せぬ様、ドリルにストッパー処理をし穴開けして下さい。
2. 開け後はバリが残らない様にバリ取りの処理をして下さい。

2. 純正スポイラーにTRDスポイラーを被せ表裏共に両面テープの接着面を確認し、白ガス、又はIPAを使用し一方方向へ拭くように脱脂する。

△注意

- 剥れの原因になる為、良く脱脂をして下さい。アドバイスの項で貼付けた紙テープ位置から6mm位後側が脱脂ゾーンになります。コーティング処理済み車両は極細コンパウンド等で、軽く研磨して下さい。



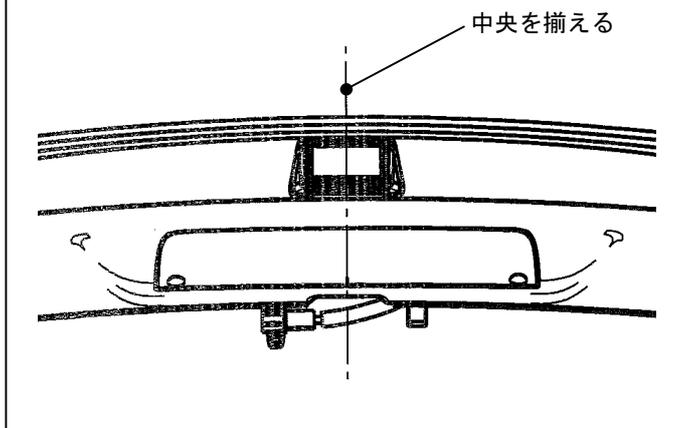
5. TRDスポイラーの取付け

1. TRDスポイラー裏面の既存穴(図7矢印位置)に構成③のウェルナットを左右共挿入する。
2. 図7の様に両面テープ離型紙の中央部上下4カ所を30mmほど剥がし、スポイラーの表面にテープ止めをする。
3. 純正スポイラーに被せ、下側穴から構成②のボルトと④のワッシャで左右を仮締めする。

△注意

1. 仮締めはTRDスポイラーを動かせる程度にして下さい。本締めは後作業です。

図 8

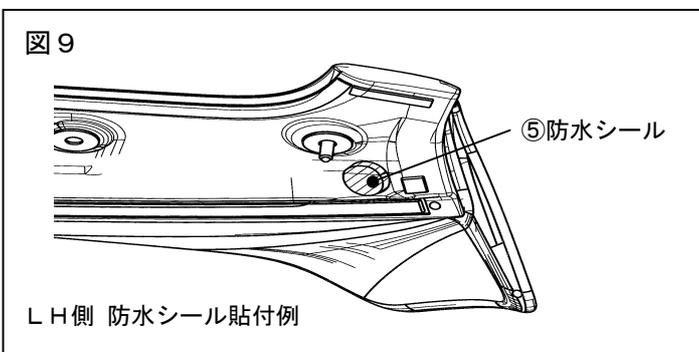


4. 図8の様に純正スポイラーと被せたTRDスポイラーの中央が合っている事を確認。
(ずれがある時は微調整、又は穴位置微調整)
5. TRDスポイラー下面側を少し浮かしきみにし、両面テープの離型紙を左右共に全て抜取り中央から外側へ圧着していく。
6. 上面側は離型紙を中央から片側ずつ抜取りながら、外側へ向かって圧着していく。

△注意

1. 離型紙を切らない様にゆっくり引抜いて下さい。
2. 取付後に浮き、歪み、剥れが発生しない様に両面テープ貼付け部はしっかりと圧着して下さい。(49N 以上)

図 9



6. ボルトの本締付、防水シール貼付け

1. 作業5-3で仮締めしてあるボルトを4.9 Nmで本締めをし、図9のように⑤防水シールを作業穴に貼付ける。

△注意

1. 防水シールの貼付け部は、貼付け後に剥れが発生無いよう脱脂を確実にこなして下さい。

2. 作業1-2、アドバイスの項で貼付けた目印の紙テープを剥がす。

7. 純正スポイラーの復元

1. TRDスポイラーを装着した純正スポイラーを修理書に従って車両に取付ける。

8. スポイラー取付け後の車両確認

1. 取付け後3~5 Kmの通常走行を行いTRDスポイラーと純正スポイラーの締結部、車両と純正スポイラーの取付部にガタ、遊び、浮き等の無い事を確認する。
2. 純正スポイラー取付作業付近の傷、汚れを確認する。

△注意

1. 両面テープ貼付け部に水分が付着しない様、取付け後24時間は洗車を控えて下さい。